

## 学校教育目標（令和4年度策定）

「夢をもち、地域と共に生きる生徒の育成」

たくましい心身 強い意志 豊かな情操 優れた知性をもつ生徒



### ◇学校教育目標設定の基盤

これからの社会は、グローバル化の進展や人工知能（AI）の発達等により予測が困難な時代となるといわれている。急激な少子高齢化が進む我が国にあっては、一人一人が持続可能な社会の担い手としてその多様性を原動力とし、質的な豊かさを伴った個人と社会の成長につながる新たな価値を生み出していくことが期待されている。

また、平成29年度改訂学習指導要領においては、知・徳・体にわたる「生きる力」を生徒に育むために、学ぶ意義を共有するために全ての教科等の目標及び内容を「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の育成を目指す資質・能力の三つの柱で整理された。これは、先にも述べたように、予測困難な社会の変化に主体的に関わり、夢をもってよりよい社会と自らの幸福な人生の創り手となる力を身に付けることの具現化を目指すものである。

さらに、札幌市の発展とともに様々な都市機能が複合的に融和した最先端の街として開発された、このもみじ台地区においても少子高齢化は進んでいる。子どもたちが持続可能な社会の担い手として、ふるさと「もみじ台」を心にもち、人間愛をもって地域の活性化の一翼を担うことは、子どもたち自身及びこの地の未来を切り拓くことにつながると考える。

学校目標の策定に当たっては、生徒の実態、地域の状況、保護者・地域の願いなどを十分に踏まえ、期待する望ましい生徒像を目指して全職員で作上げるものでなければならない。そのために、関係小学校の教育目標、地域の特性、そして、令和3年度をもって統合となったもみじ台南中学校と本校が、開校以来積み重ねてきた実績を踏まえた上で、学習指導要領、札幌市学校教育の重点を十分に参照し、策定したものである。

### ◇学校教育目標を具現化する基本姿勢

以下の4点を基本姿勢として教育活動に向かうことで、学校教育目標の具現化に努めるものである。また、この基本姿勢は普遍的なものではあるが絶対的なものではない。未来社会の状況を踏まえ柔軟に変化することで、子どもたちの健やかな心身の成長に資するものである。

#### ○主体性を大切にす学校

～教育活動のあらゆる場面で、自ら考え判断し行動する～

#### ○多様性を認め、受け入れる学校

～個々の特性 年齢差、国籍、LGBTQ 人間尊重の精神をもつ～

#### ○学びを楽しむ学校

～教師主体から生徒主体の授業へ 「させる」から「する」の良質な学びをめざす～

#### ○笑顔で活力のある学校

～教師の笑顔が 子どもの笑顔を生む 笑顔の連鎖は 前を向く強さを生む～